



本社：丸の内ビルディング33階

- 本社所在地：東京都千代田区丸の内2丁目4番1号丸の内ビルディング33階
- 事業概要：パッケージソフトウェア GAAS™の展開
- 常時使用する従業員：150名（グループ全体・2024年12月期）
- 現在の売上高：48億円（グループ全体・2024年12月期）
- 法人番号：8010601044684
- Web：https://www.tanaakk.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役会長CEO
田中翔一郎

企業理念：Decrypt History, Encrypt Future / 歴史をひも解き、未来をつづる

当社は2021年にGAASをリリースし、4年間で年商1億円から年商48億円までを実現しています。年商100億円は経営インジケータの構成要素の一つでしかないため、年商そのものが目標ではないものの、世界Top 1クラスの投資収益性目標であるROIC100%を目指しながら、世界Top10であるROIC 30%をハードルレートとできる組織の基盤を作る上で、年商100億円は重要な通過点です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

ROIC100%を目標として、ROIC>30%をハードルレートとしながら2030年に年商100億円を実現する。
アセットライトな情報製造小売業を主軸とし、自社の業績のみならず、GAASを導入している顧客の収益性と成長性も、プロアクティブにGMV（Gross Merchandise Value）としてKPI化し、3rd Partyエコシステムを管理していく。

課題

ROIC>100%を目標としつつ、年商の急成長を実現する
1.明確な財務規律 ROIC=投下元本×資本回転率×マージン
2.マネジメント層のROIC教育
3.現場レベルにおいて原理原則を自律機能させる
高資本回転率、中マージンのビジネスモデルについてスケールビリティを実験

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

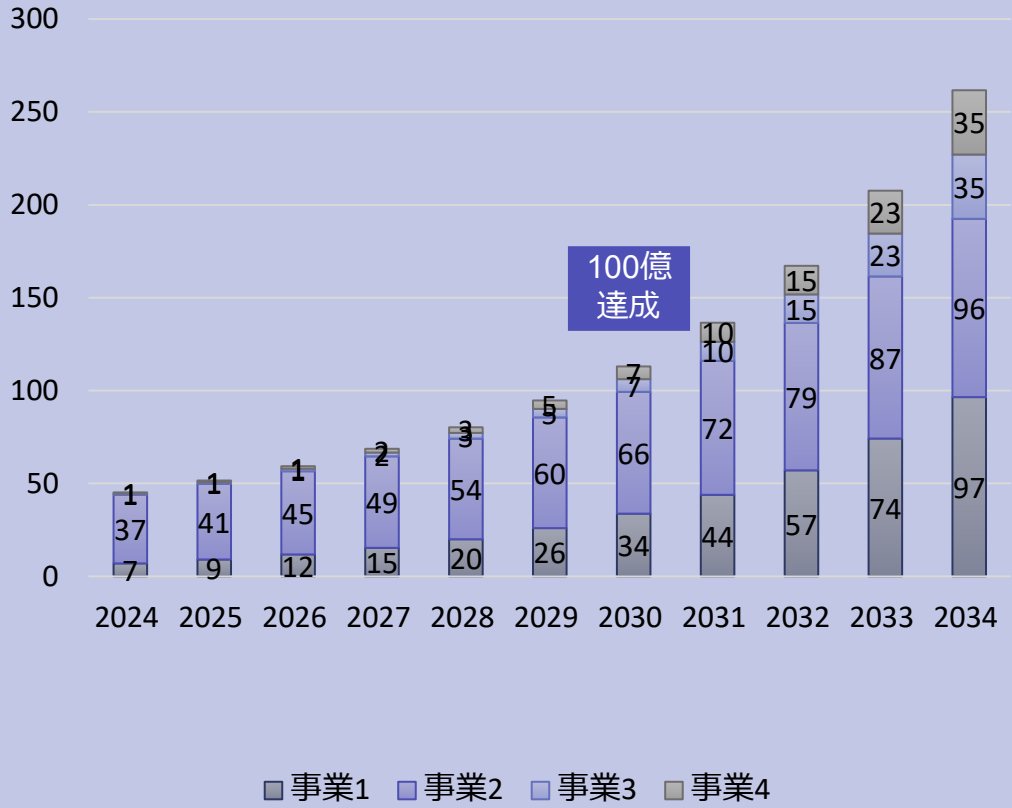
既存事業に関する明確な財務規律を持ち、コア事業においてはプラスのフリーキャッシュフローを生みつつも、新規事業投資によるROIC規模の拡大及び10カ年IRRを最適化することを目的として、手元のマイナスのフリーキャッシュフローを積極的に作りつつも数カ年でプラスのフリーキャッシュフローを回収していくようなトポロジカルな財務戦略が必要となる。

実施体制

1.財務調達(5カ年で50億円)
2.CAPEX/OPEXへの先行投資（5カ年で50億円の投資）
3.IRR/ROICをモニタリングしつつ年商100億円のマイルストーン実現
自社の業績のみならず、GAASクライアントの事業ROICや産業エコシステム全体の市場ボトルネックおよびROIC最適化を考慮することのできるチームへの脱皮が必要

売上高100億円実現の目標と課題（別紙）

売上高



国内企業構成



当社では、国内1500兆円の企業総売上のうち、約40%を占め、国内就業人口6000万人の約40%を占める日本の最大雇用市場Top3である小売、製造、建設を対象として、伝統的産業における資本収益性をデジタルの力により飛躍的に高める事業モデルを開発している。調達、生産、販売において、業態の異なる事業に対して、標準化された財務指標とソフトウェア群で管理することを目指している。